

2 家庭生活について

2-1 家庭における役割分担

問2 次の項目について、あなたはどの程度行っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

【全体】

「いつもする」項目は、『洗濯』(51.5%)、『食事の後片付け』(50.9%)が5割を超えて多くなっています。

「時々する」項目では、『掃除』(32.6%)、『地域活動への参加』(30.5%)、『食料品・日用品の買い物』(30.2%)が3割を超えて多くなっています。

また、「しない」項目は、『食事のしたく』(21.2%)、『地域活動への参加』(20.9%)が2割を超えています。

「あまりしない」項目は、『地域活動への参加』(12.5%)、『掃除』(12.2%)の順で多くなっています。

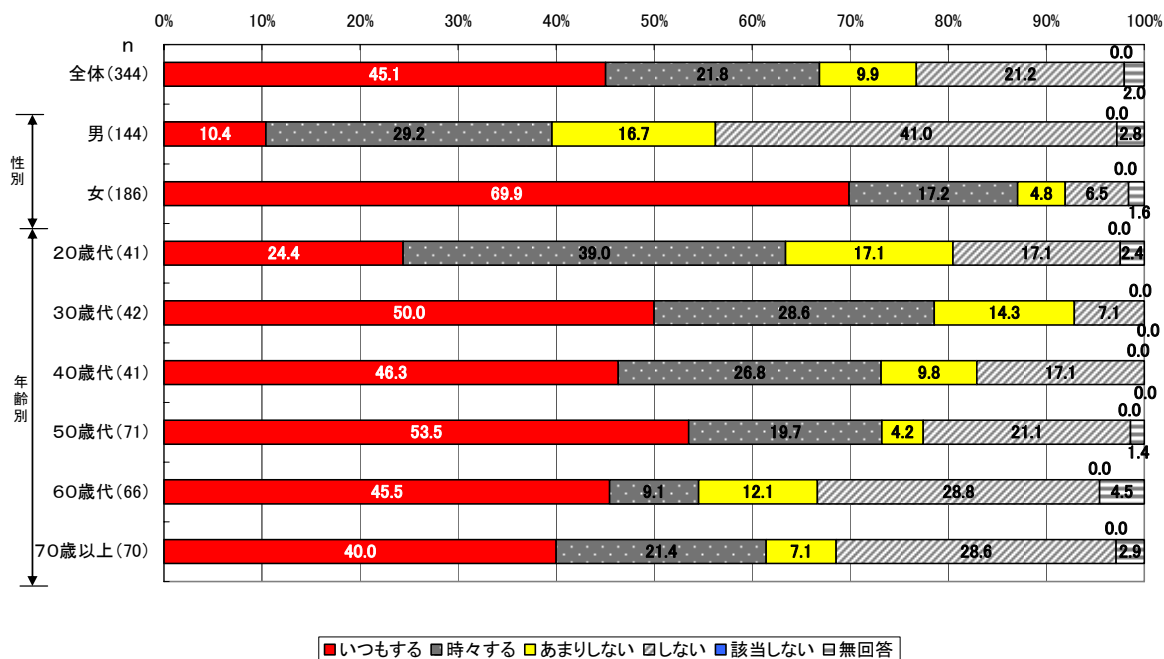
【性別】

女性は、『食事のしたく』『食事の後片付け』『掃除』『洗濯』『食料品・日用品の買い物』の各項目について「いつもする」が6～8割を占めているのに対し、男性は1～2割程度にとどまっています。

【年齢別】

20歳代で『食事のしたく』『食事の後片付け』『掃除』『洗濯』『ごみ出し』『食料品・日用品の買い物』の各項目について「いつもする」が2～3割程度であるのに対し、50歳代では5～6割を占めています。

1. 食事のしたく



【全体】

「いつもする」が45.1%と最も多く、次いで「時々する」(21.8%)、「しない」(21.2%)となっています。

「しない」割合については、9項目の中で最も高くなっています。

【性別】

「いつもする」は、女性が69.9%と約7割を占めているのに対し、男性は10.4%と約1割程度となっています。

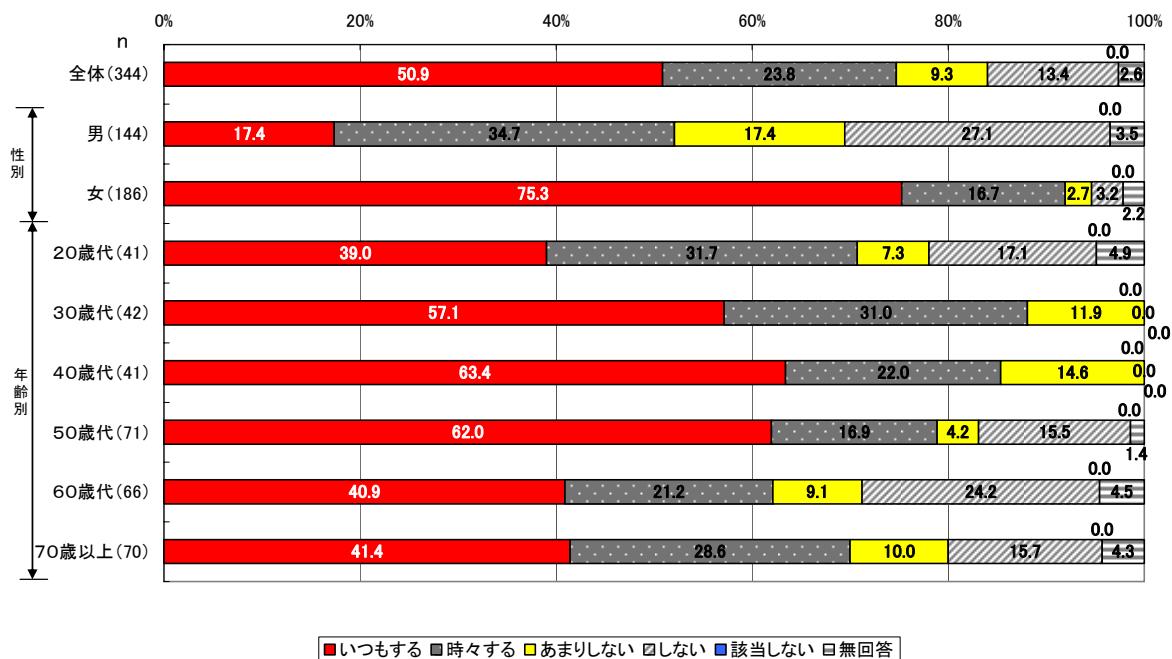
また、「しない」「あまりしない」を見ると、女性は11.3%と1割程度であるのに対し、男性は57.7%と6割弱を占めています。なお、男性の「しない」割合は41.0%と9項目の中で最も高くなっています。

【年齢別】

「いつもする」は、50歳代が53.5%と最も多く、次いで30歳代が50.0%となっており、20歳代が24.4%と最も少なくなっています。

「時々する」割合は、20歳代が39.0%と最も高くなっています。

2. 食事の後片付け



【全体】

「いつもする」が50.9%と5割強を占め最も多く、次いで「時々する」(23.8%)、「しない」(13.4%)となっています。

【性別】

「いつもする」は、女性が75.3%と4分の3を占めているのに対し、男性は17.4%となっています。

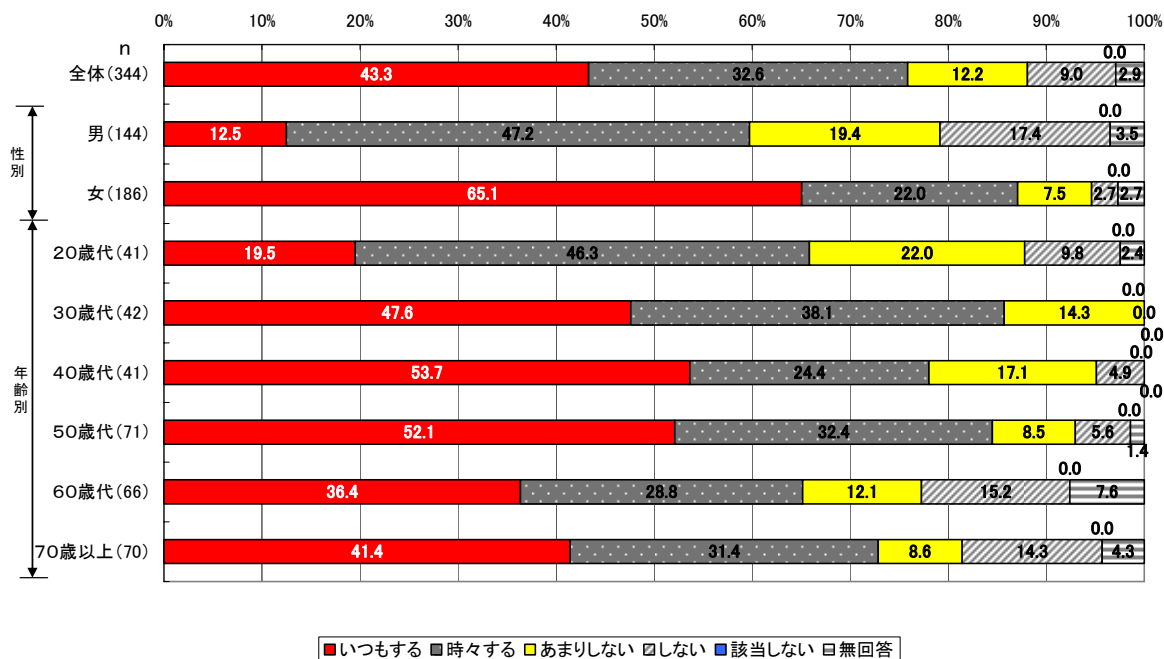
また、「しない」「あまりしない」を合わせると、女性は5.9%と少数であるのに対し、男性は44.5%と5割近くを占めています。

【年齢別】

「いつもする」は、40歳代が63.4%と最も多く、次いで50歳代が62.0%となっており、20歳代が39.0%と最も少なくなっています。

「時々する」割合は、20歳代が31.7%と最も高くなっています。

3. 掃除



【全体】

「いつもする」が43.3%と最も多く、次いで「時々する」(32.6%)、「あまりしない」(12.2%)となっています。

「時々する」割合は、9項目の中で最も高く、「しない」割合は9.0%と最も低くなっています。

【性別】

「いつもする」は、女性が65.1%と3分の2を占めているのに対し、男性は12.5%と1割強程度となっています。

また、「しない」「あまりしない」を合わせると、女性は10.2%と1割程度であるのに対し、男性は36.8%と3分の1以上を占めています。

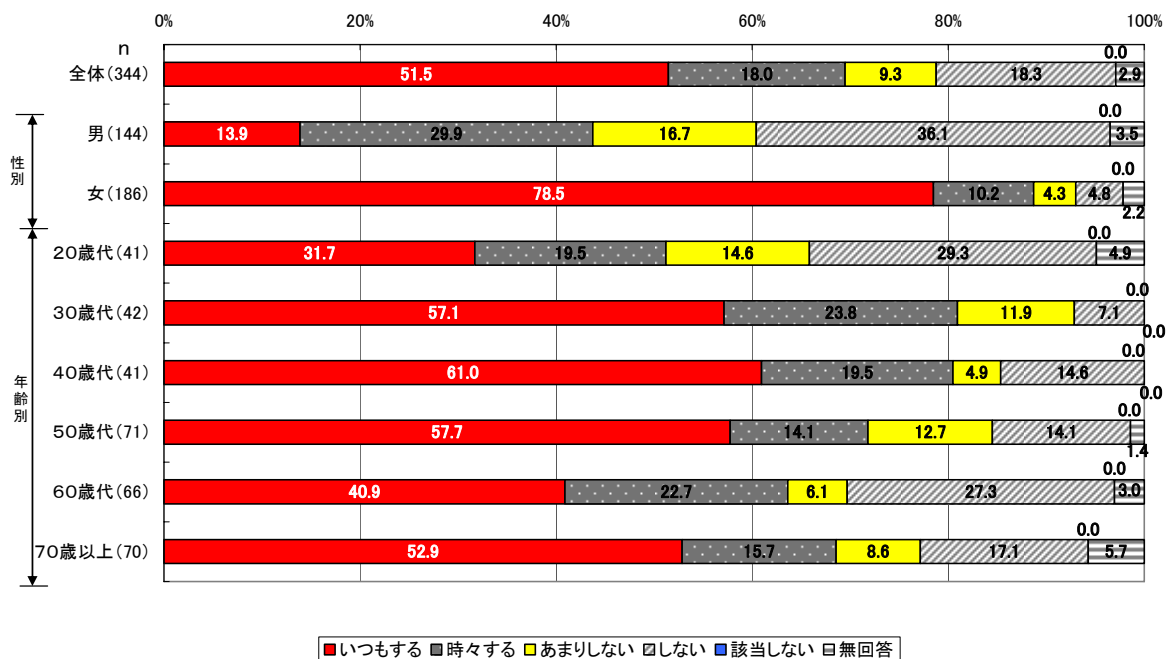
男性の「時々する」割合については、47.2%と5割近くを占め、9項目の中で最も高くなっています。

【年齢別】

「いつもする」は、40歳代が53.7%と最も多く、次いで50歳代が52.1%となっており、20歳代が19.5%と最も少なくなっています。

「時々する」割合は、20歳代が46.3%と最も高くなっており、9項目の中でも最も高い割合となっています。

4. 洗濯



【全体】

「いつもする」が51.5%と最も多く、次いで「しない」(18.3%)、「時々する」(18.0%)となっています。なお、「いつもする」割合は、9項目の中で最も高くなっています。

【性別】

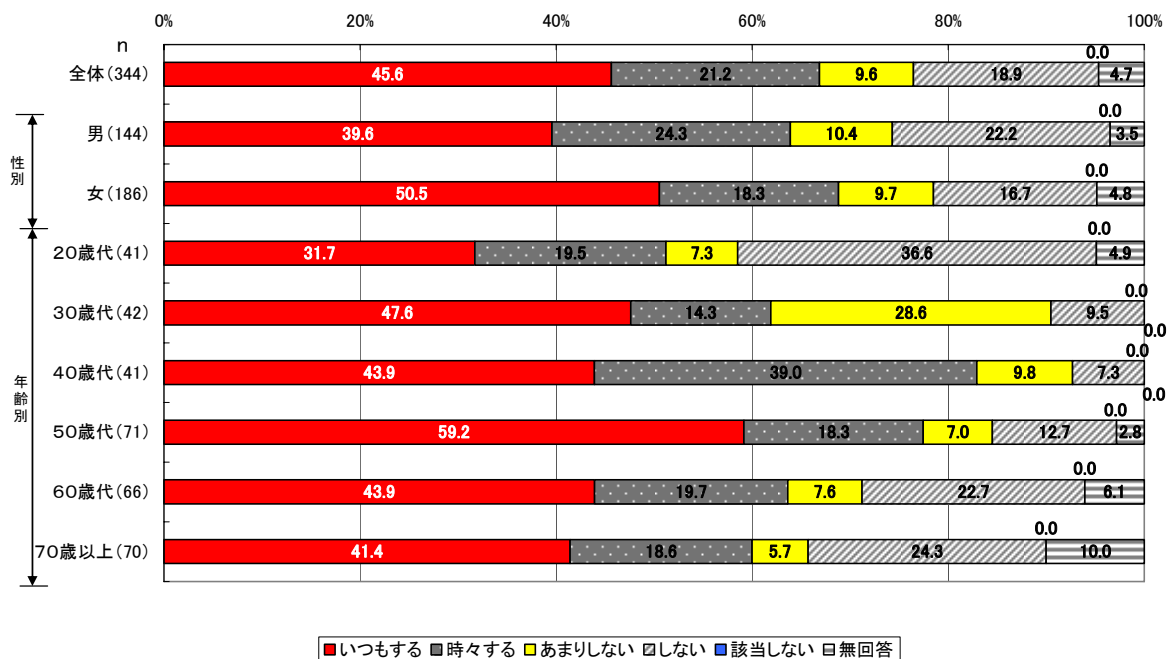
「いつもする」は、女性が78.5%と8割近くを占めているのに対し、男性は13.9%と1割強程度となっています。

また、「しない」「あまりしない」を合わせると、女性は9.1%と1割弱であるのに対し、男性は52.8%と5割強を占めています。

【年齢別】

「いつもする」は、40歳代が61.0%と6割強を占め最も多く、次いで50歳代が57.7%となっており、20歳代が31.7%と最も少なくなっています。

5. ごみ出し



【全体】

「いつもする」が45.6%と最も多く、次いで「時々する」(21.2%)、「しない」(18.9%)となっています。

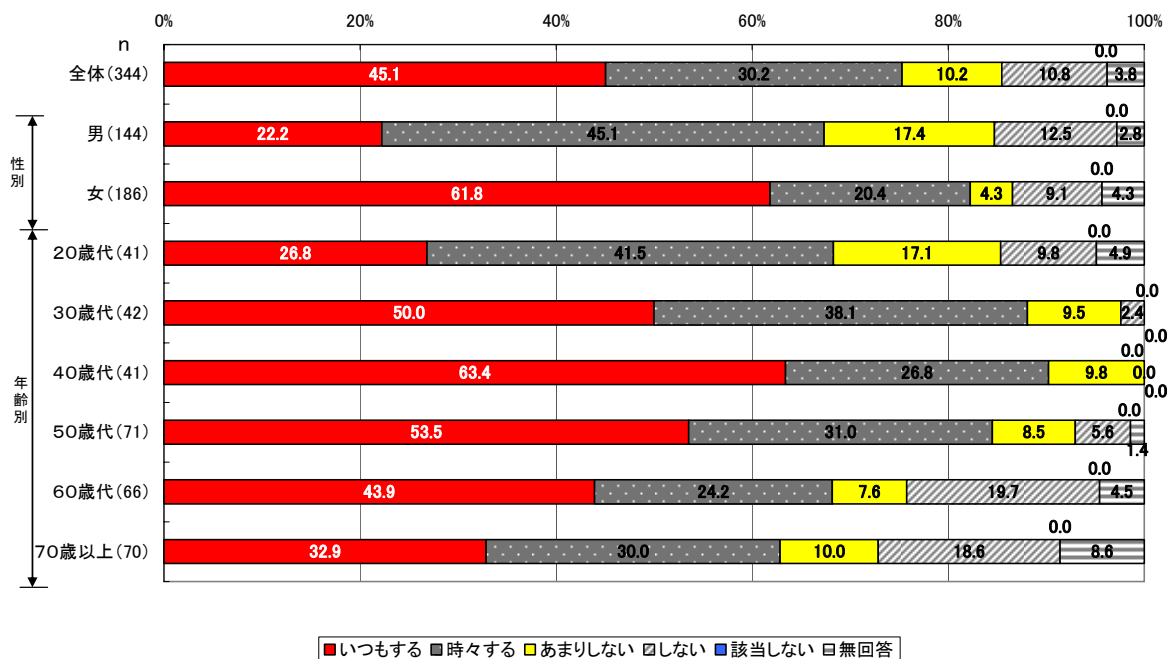
【性別】

「いつもする」は、女性が50.5%と5割強を占め、男性は39.6%と4割弱を占めています。なお、男性の「いつもする」割合については、9項目の中で最も高くなっています。

【年齢別】

「いつもする」は、50歳代が59.2%と最も多く、次いで30歳代が47.6%となっており、20歳代が31.7%と最も少なくなっています。

6. 食料品・日用品の買い物



【全体】

「いつもする」が45.1%と最も多く、次いで「時々する」(30.2%)、「しない」(10.8%)となっています。

【性別】

「いつもする」は、女性が61.8%と6割強を占めているのに対し、男性は22.2%と2割強となっています。

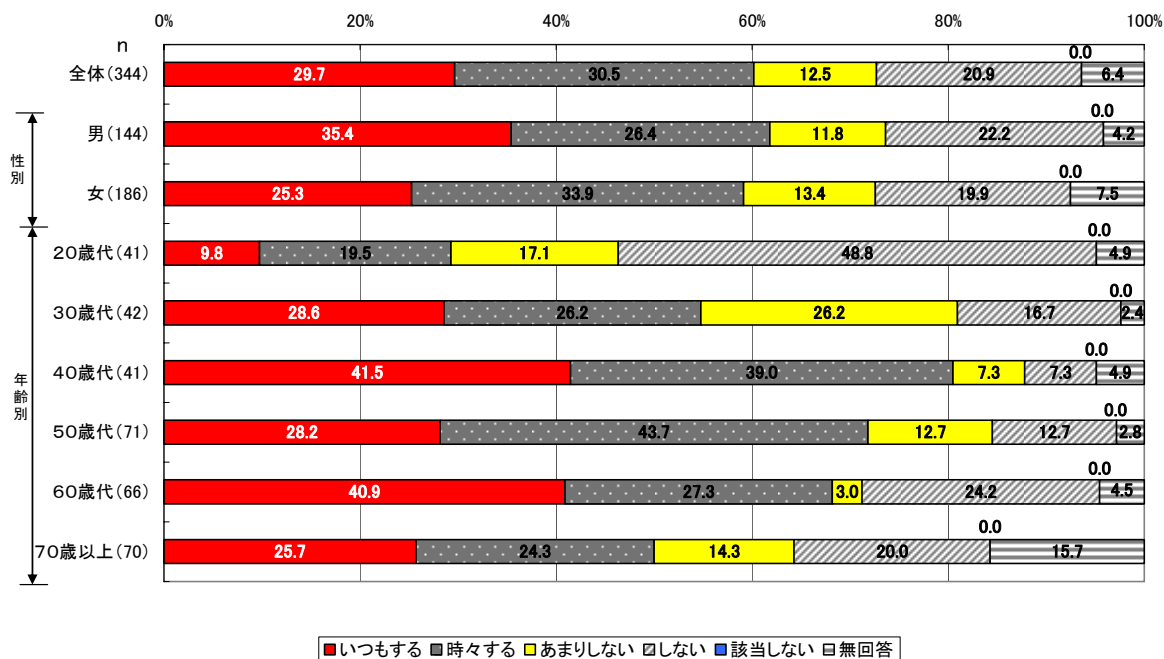
男性の「時々する」割合については45.1%と9項目の中では『掃除』(47.2%)に次いで高くなっています。

【年齢別】

「いつもする」は、40歳代が63.4%と最も多く、次いで50歳代が53.5%となっており、20歳代が26.8%と最も少なくなっています。

「時々する」割合は、20歳代が41.5%と最も高くなっています。

7. 地域活動への参加



【全体】

「時々する」が30.5%と最も多く、次いで「いつもする」(29.7%)、「しない」(20.9%)となっています。

【性別】

「いつもする」は、男性が35.4%、女性が25.3%となっており、男性が9項目の中で唯一女性を上回っている項目となっています。

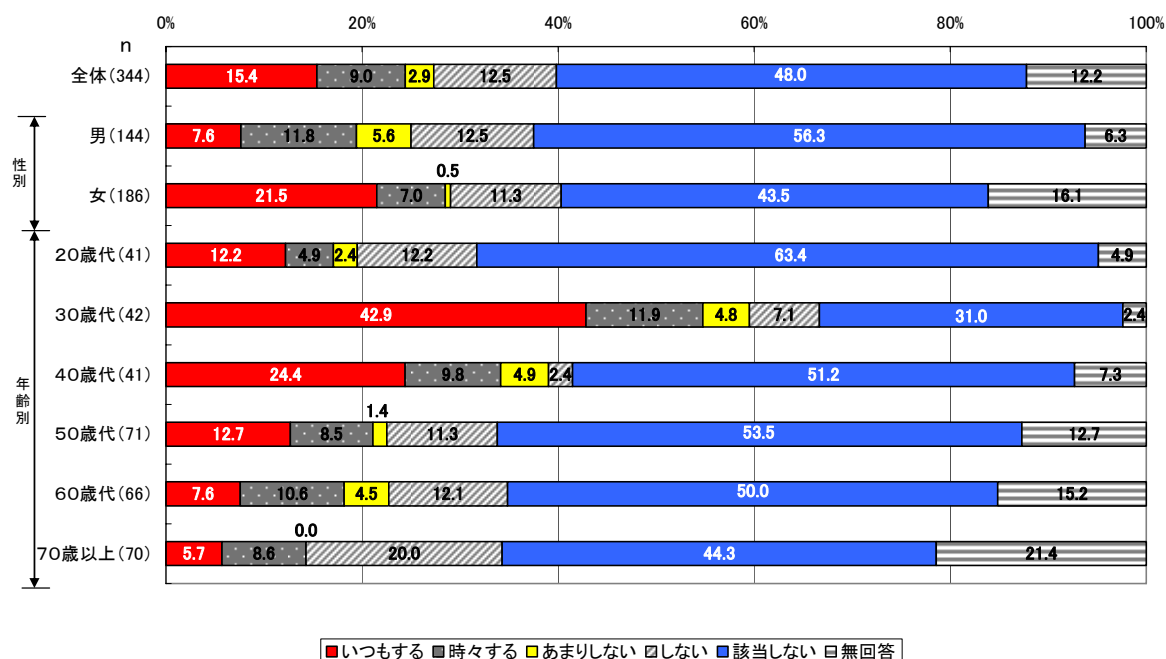
また、女性の「時々する」「あまりしない」「しない」割合については、33.9%、13.4%、19.9%で、9項目の中でいずれも最も高い割合を示しています。

【年齢別】

「いつもする」を見ると、40歳代が41.5%と最も多く、次いで60歳代が40.9%となっており、20歳代が9.8%と最も少なくなっています。

「しない」割合については、20歳代が48.8%と最も高くなっているとともに、9項目の中においても最も高くなっています。

8. 乳幼児の世話



【全体】

「該当しない」が48.0%と5割弱を占め最も多くなっています。

「いつもする」(15.4%)、「時々する」(9.0%)を合わせると24.4%、「あまりしない」(2.9%)、「しない」(12.5%)を合わせると15.4%となっています。

【性別】

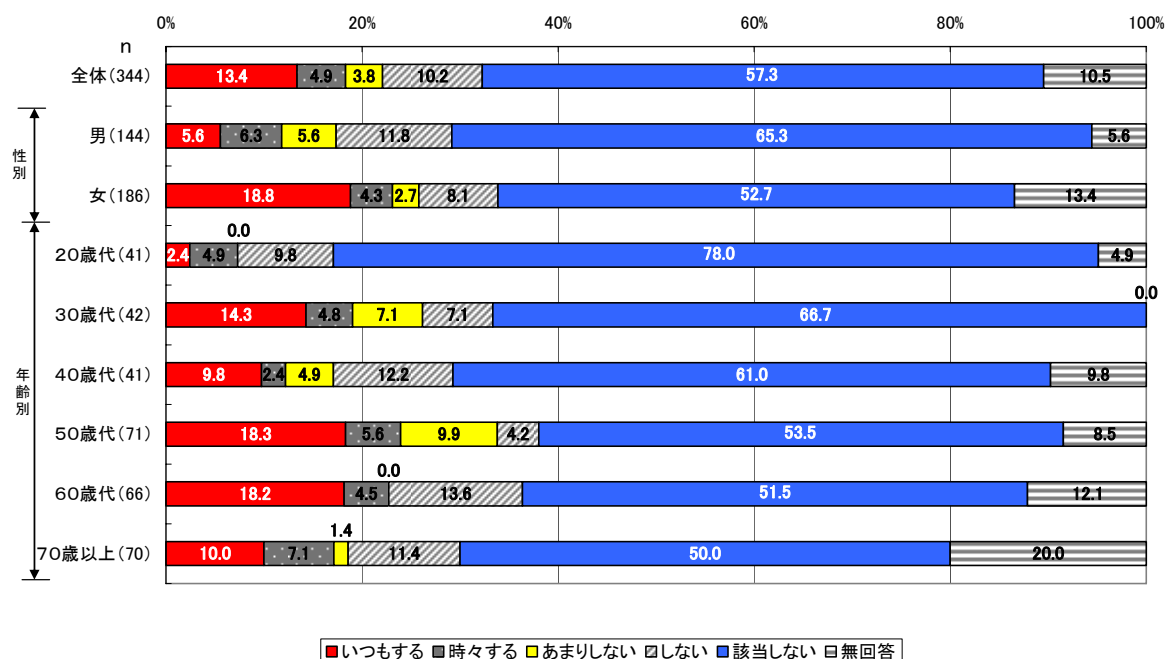
「いつもする」は、女性が21.5%であるのに対し、男性は7.6%となっており、女性のほうに子育ての負担が偏っている傾向にあります。

【年齢別】

「いつもする」は、30歳代が42.9%と最も多く、次いで40歳代が24.4%となっており、70歳代が5.7%と最も少なくなっています。このことから、子育て世代は30歳代に多いということがうかがえます。

20歳代では「該当しない」が63.4%と6割以上を占め、各年齢層の中で最も多くなっています。

9. 家族の介護



【全体】

「該当しない」が57.3%と6割弱を占め最も多くなっています。

「いつもする」(13.4%)、「時々する」(4.9%)を合わせると18.3%、「あまりしない」(3.8%)、「しない」(10.2%)を合わせると14.0%となっています。

【性別】

「いつもする」は、女性が18.8%であるのに対し、男性は5.6%となっており、女性のように介護の負担が偏っている傾向にあります。

【年齢別】

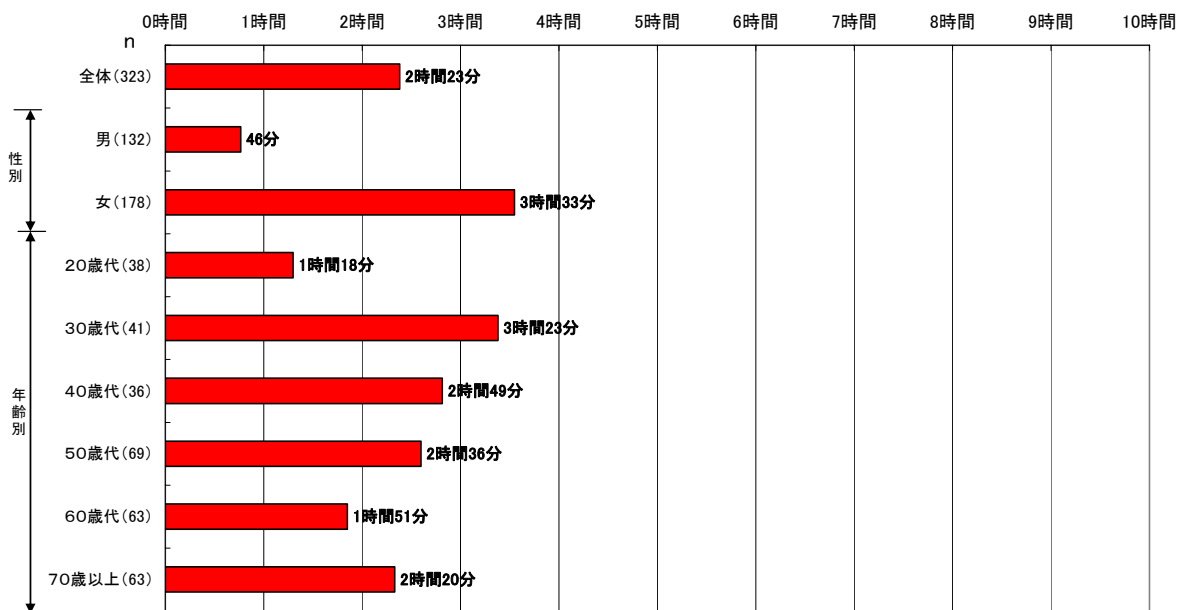
「いつもする」を見ると、50歳代が18.3%と最も多く、次いで60歳代が18.2%となっており、20歳代が2.4%と最も少なくなっています。

なお、20歳代では「該当しない」が78.0%と8割弱を占め、各年齢層の中で最も多くなっています。

2-2 平日における家事・育児・介護・仕事の時間

問3 平日、次のことに使う時間はどれくらいですか。____に時間をご記入ください。

1. 家事の時間



【全体】

平日1日当たりの平均時間は2時間23分となっています。

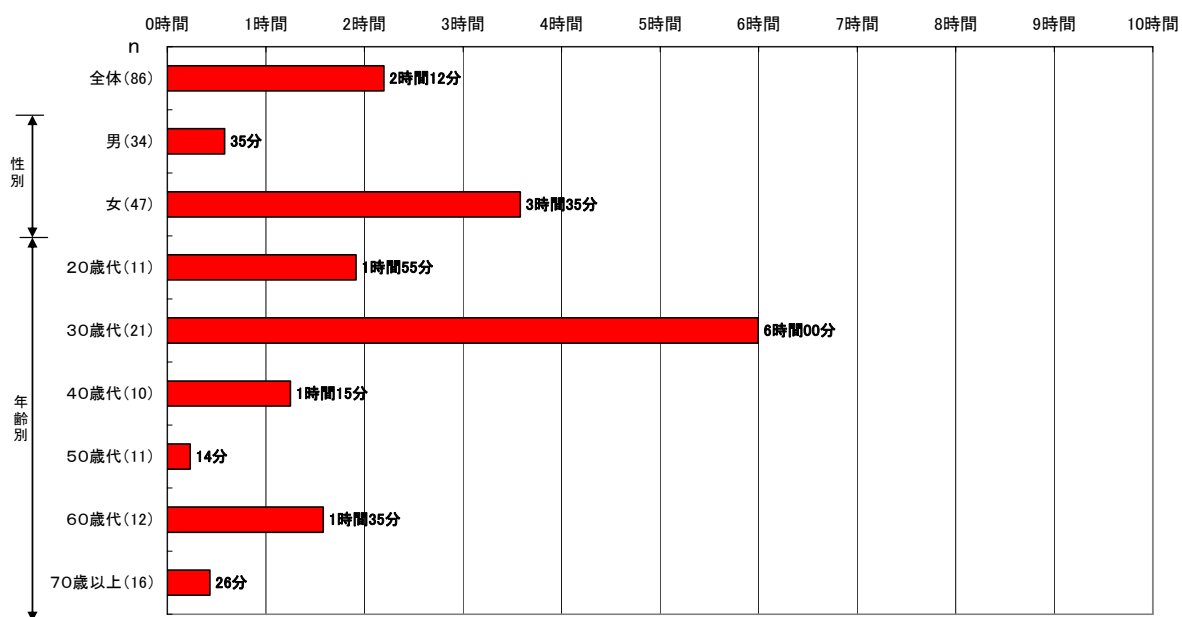
【性別】

女性が3時間33分であるのに対し、男性は46分で、女性の約5分の1の家事時間となっています。

【年齢別】

30歳代が3時間23分と最も長く、次いで40歳代が2時間49分となっており、20歳代が1時間18分と最も短くなっています。

2. 育児の時間



【全体】

平日1日当たりの平均時間は2時間12分となっています。

【性別】

女性が3時間35分であるのに対し、男性は35分で、女性の6分の1以下の育児時間となっています。

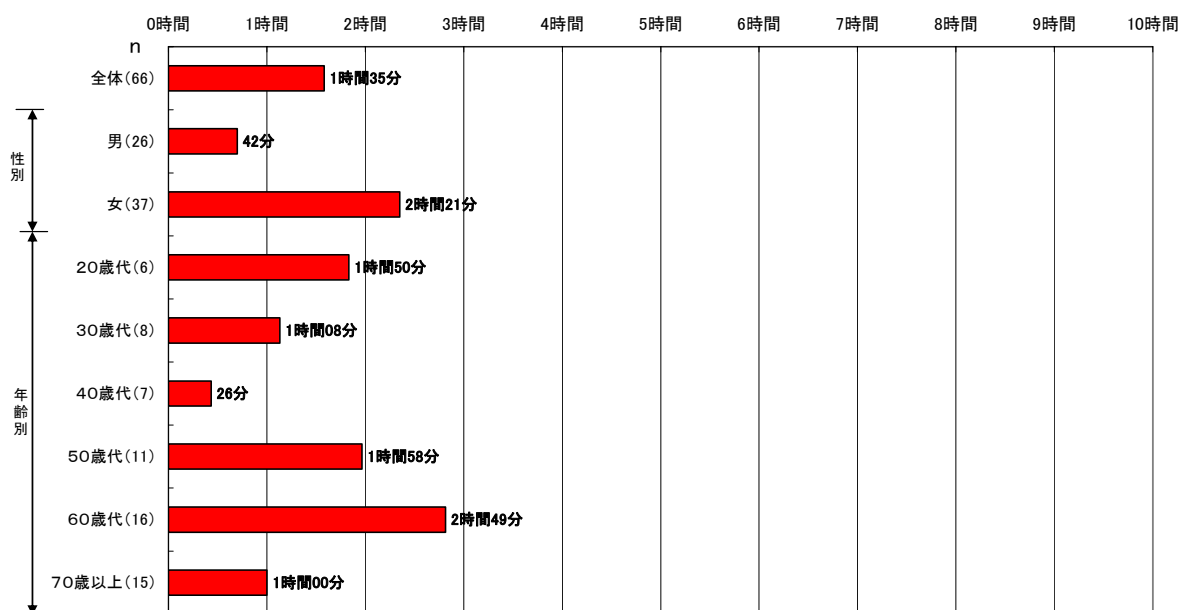
したがって、女性のほうに子育ての負担が偏っていることがうかがえます。

【年齢別】

30歳代が6時間と最も長く、次いで20歳代が1時間55分となっており、50歳代が14分と最も短くなっています。

したがって、子育てをしている方は30歳代に多いということがうかがえます。

3. 介護の時間



【全体】

平日1日当たりの平均時間は1時間35分となっています。

【性別】

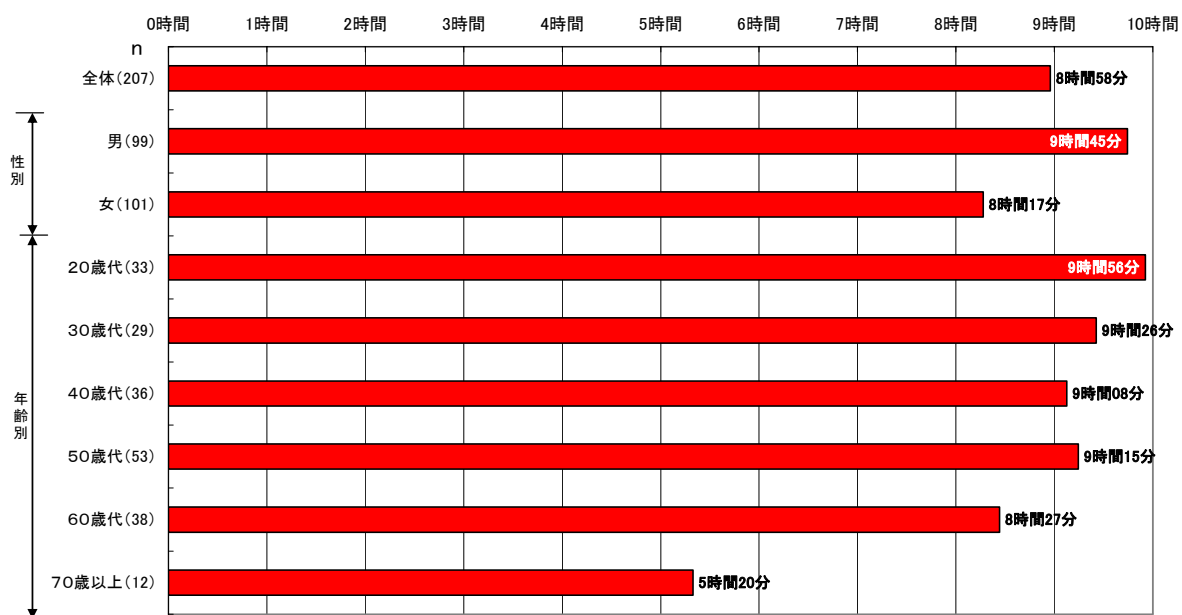
女性が2時間21分であるのに対し、男性は42分で、女性の3分の1以下の介護時間となっています。

したがって、女性のほうに介護の負担が偏っていることがうかがえます。

【年齢別】

60歳代が2時間49分と最も長く、次いで50歳代が1時間58分となっており、40歳代が26分と最も短くなっています。

4. 仕事の時間（通勤時間を含む）



【全体】

平日 1 日当たりの平均時間は 8 時間 58 分となっています。

【性別】

男性が 9 時間 45 分、女性が 8 時間 17 分となっており、仕事の時間は男性のほうが女性より 1 時間 28 分長くなっています。

【年齢別】

20 歳代が 9 時間 56 分と最も長く、次いで 30 歳代が 9 時間 26 分となっています。なお、70 歳以上における仕事の時間も 5 時間 20 分ほどあり、年齢層を考慮すると長くなっていると思われます。

2-3 結婚・子ども・離婚

問4. 次のことについて、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

【全体】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると、『結婚は個人の自由だから結婚してもしなくてもどちらでもよい』が44.5%と5割近くを占め最も多く、『結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい』が32.3%、『結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない』が30.8%となっています。

また、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると、『結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない』が40.1%と、3項目の中で「反対」の考え方が最も多くなっています。

【性別】

男性は、『結婚は個人の自由だから結婚してもしなくてもどちらでもよい』『結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない』『結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい』のいずれの考え方においても「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成の立場の方より「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた反対の立場の方のほうが多くなっています。

一方、女性は、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた反対の立場の方より「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成の立場の方のほうが多くなっています。

したがって、男性より女性のほうがこれら3つの考え方に肯定していることがうかがえます。

また、「どちらともいえない」の回答率を見ると、いずれの考え方においても、男性より女性のほうが高くなっています。

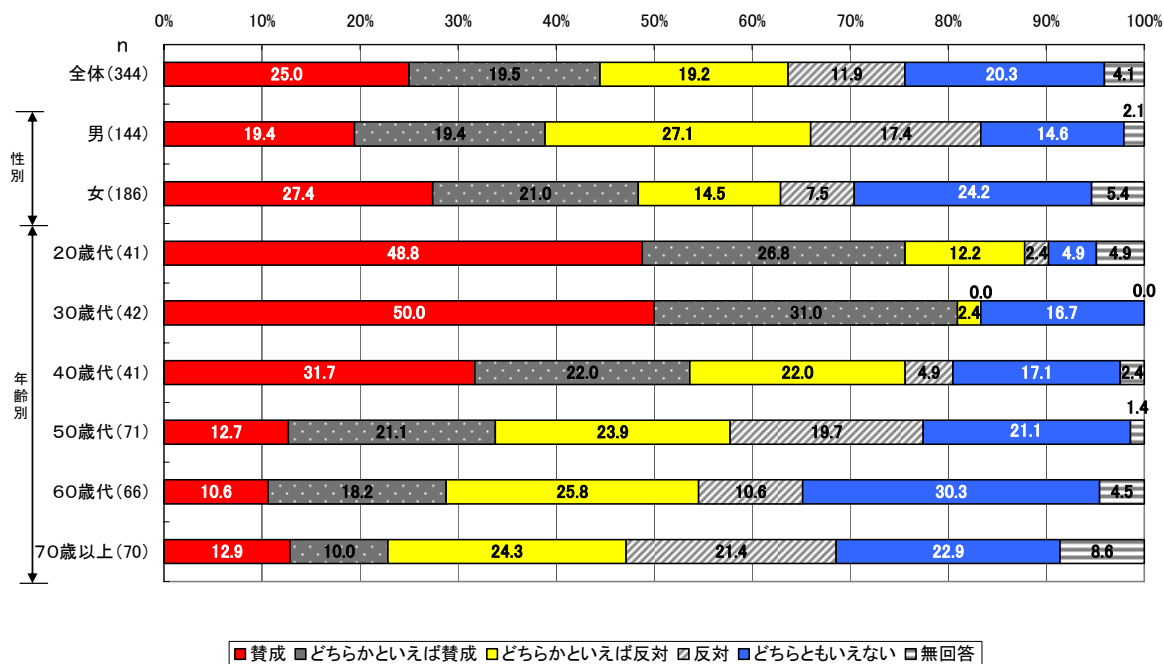
【年齢別】

『結婚は個人の自由だから結婚してもしなくてもどちらでもよい』『結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない』『結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい』のいずれの考え方においても、20歳代及び30歳代は、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた反対の立場の方より「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成の立場の方のほうが多くなっています。

一方、50歳代～70歳以上では、いずれの考え方においても「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成の立場の方より「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた反対の立場の方のほうが多くなっています。

したがって、年齢層が低いほどこれら3つの考え方に肯定している方が多く、年齢層が高いほどこれらの考え方に否定的な方が多くなっている傾向にあります。

1. 結婚は個人の自由だから結婚してもしなくてもどちらでもよい



【全体】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると 44.5%、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると 31.1%で、賛成が反対を約 13.4 ポイント上回っています。

なお、賛成が反対を上回っているのは3つの考え方の中でもこの項目のみとなっています。また、「どちらともいえない」は 20.3%と 2割を占めています。

【性別】

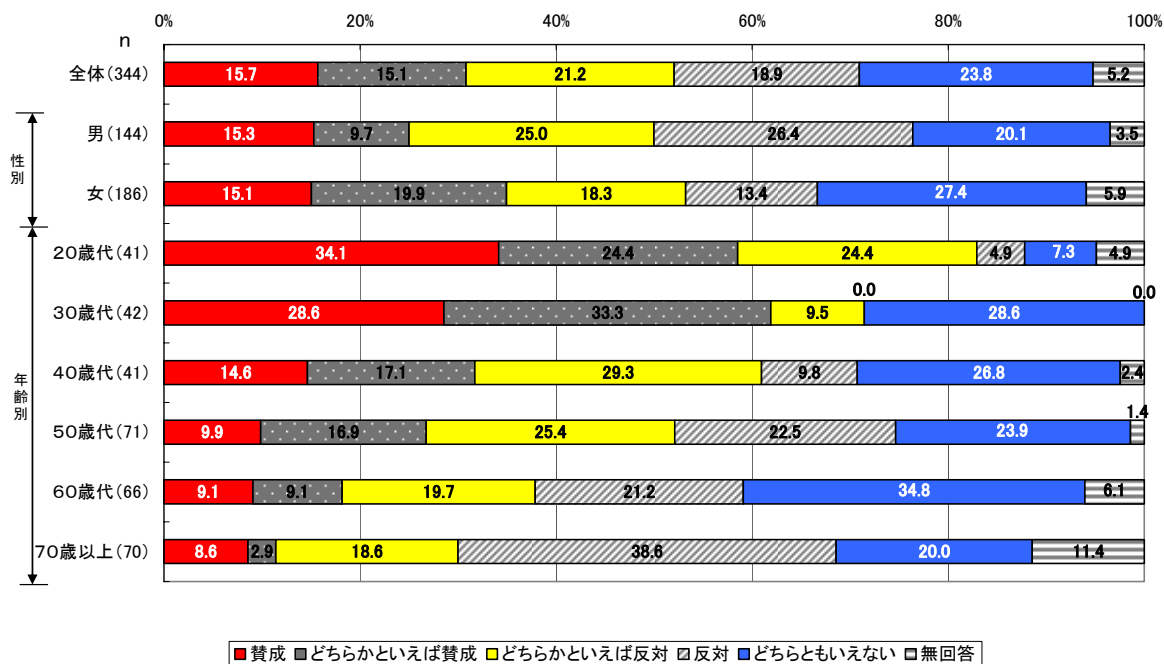
「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると、男性が 38.8%と 4割弱、女性が 48.4%と 5割弱を占めており、「結婚するのは自由」という考え方は女性に多い傾向にあります。

【年齢別】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると、30歳代が 81.0%と 8割以上を占め最も多く、次いで 20歳代が 75.6%となっているのに対し、70歳代は 22.9%と最も少なくなっています。

したがって、年齢層が低いほど「結婚するのは自由」という考え方が多くなっている傾向にあります。

2. 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない



【全体】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると 30.8%、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると 40.1%で、反対が賛成を約 10 ポイント上回っています。

「どちらともいえない」は 23.8%と約 4分の 1 を占めています。

【性別】

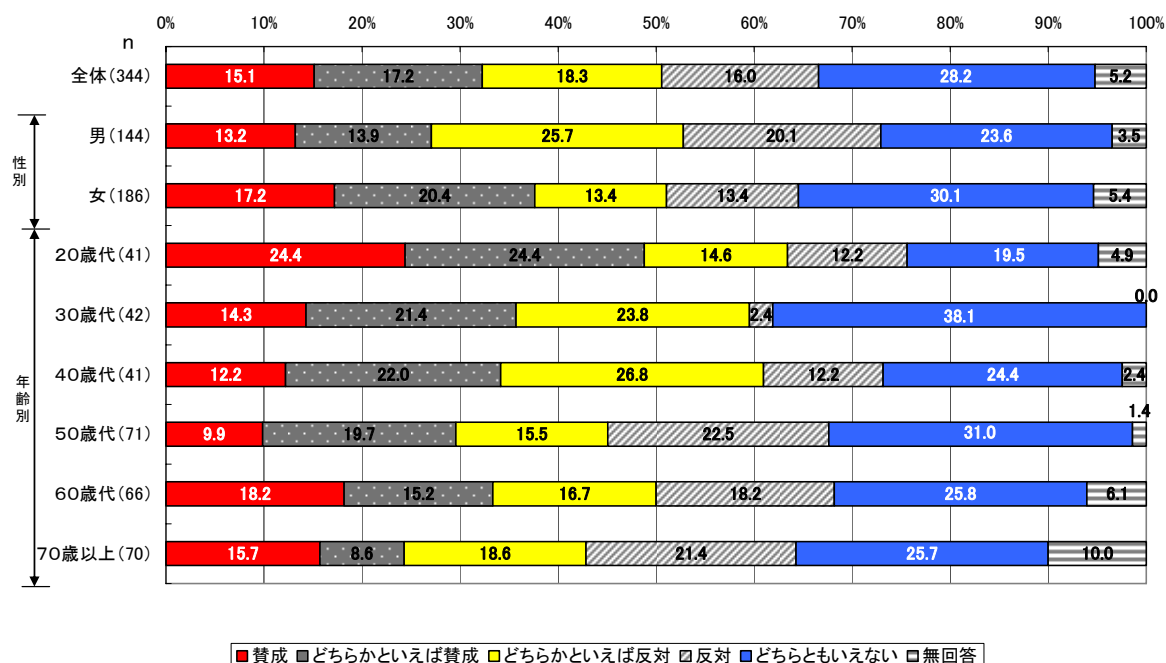
「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると、男性が 51.4%と 5割強を占めているのに対し、女性は 31.7%と 3割強となっており、「子どもを持つ必要性」の意識は女性より男性のほうが高い傾向にあります。

【年齢別】

「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると、70歳以上が 57.2%と 6割近くを占め最も多く、次いで 50歳代が 47.9%となっている一方、30歳代が 9.5%と最も少なく、20歳代は 29.3%となっています。

したがって、年齢層が高い世代ほど「子どもを持つ必要性」の意識が高い傾向にあります。

3. 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい



【全体】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると 32.3%、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると 34.3%、「どちらともいえない」は 28.2%と、いずれも 3 割前後となっており、この質問項目については考え方がそれぞれ拮抗している傾向にあります。

【性別】

「反対」「どちらかといえば反対」を合わせると、男性が 45.8%であるのに対し、女性は 26.8%にとどまっており、相手に満足できないときは離婚すればよいという意識は女性のほうが高い傾向にあります。

【年齢別】

「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると、20 歳代が 48.8%と 5 割近くを占め最も多く、次いで 30 歳代(35.7%)、40 歳代(34.2%)、60 歳代(33.4%)、50 歳代(29.6%)、70 歳以上 (24.3%) となっています。

したがって、年齢層が低い世代ほど「結婚へのこだわり」の意識が低くなっている傾向にあります。